



テロ対策ネットワーク岐阜通信

No. 8 令和元年 7月

最近発生した海外の主なテロ事件

2019/03/15	ニュージーランド	南部にあるモスク2か所などで、男が銃を乱射、50人が死亡、50人が負傷。
2019/04/03	フィリピン	南部スルタン・クダラド州で爆弾が爆発し、市民1人が死亡、18人以上が負傷。
2019/04/21	スリランカ	スリランカの教会及びホテルの6か所で自爆テロが発生、日本人1人を含む258人が犠牲となった。「ISIL」名で犯行声明が発出。
2019/05/25	フィリピン	南部スールー州ホロ島で、武装集団が地元コミュニティを襲撃、2人が死亡、3人が負傷。
2019/05/25	フランス	南東部の都市リヨン中心部で、歩道に置かれた荷物が爆発、13人が負傷。

(このほかにも、パキスタン、シリア、アフガニスタンなど世界中でテロが発生しています。)

テロの主な手段として

○ 手製の爆発物を使用 ○ 自動車など身近にある物を凶器として使用が挙げられます。

国内における爆発物に関連した事件は、今年に入っても

2019/03/25	名古屋地裁は、爆薬TATP、プラスチック製拳銃等を製造したとして、爆発物取締罰則違反等の罪に問われた愛知県内の元大学生に対し、懲役3年以上6年以下の不定期刑の判決を言い渡した。
2019/04/18	爆薬ETNを自宅で製造、所持したとして、東京都の高校生が書類送検された。 高校生は、会員制交流サイト(SNS)を通じて、愛知県内で爆発物を製造した大学生と交流を持ち、情報共有をしていたことが判明。
2019/06/18	兵庫県で、元交際相手が住むマンションに爆破予告をしたとして32歳の男性が逮捕された。 男は、爆発物の製造手順が記されたマニュアル、発煙筒や釘、乾電池等を所持しており、実際に爆発物を製造しようとしたとみられる。

等が発生しています。

また、犯人はSNSやインターネットを通じて、情報を交換・共有していることから、爆発物を用いた事件は、いつ、どこで発生しても不思議ではありません。

皆様へのお願い

テロを防ぐためには、皆様のご協力が必要です。

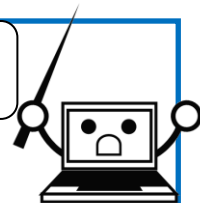
皆様が取扱う車両や薬品の保管・管理を徹底していただくとともに、皆様の身の回りで、

- 何かが爆発するような音が聞こえる
- 周囲に工場がないのに、薬品の臭いがする
- 薬品を大量又は頻繁に購入する

など、「何かおかしいな?」と少しでも不審に思うことがあれば、**110番通報**をお願いします。



サイバーセキュリティ上の脅威について



メールに添付された

WORD や EXCEL ファイルにご注意下さい

～「請求書」「注文書」等の件名のメールは、マクロウイルスに注意～

マクロウイルスとは、マイクロソフト等の WORD や EXCEL に悪意のあるマクロ[※]を埋め込んだウイルスのことです。

実行するとウイルスに感染してしまいます。

※ マクロ機能とは、処理手順をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡易な操作で実行させる機能

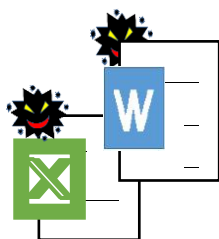
そのため、マクロウイルスがついたメールは、「請求書」「注文書」といった、つい開いてしまうような件名、添付ファイル名であることが多いです。

マクロウイルスの被害にあわないためには

- 不審なメールは安易に開かないこと
- 添付された Excel ファイルのマクロを実行しない
- 自動実行機能を解除しておく

などの対策が必要です。

もし、誤って実行してしまったら、すぐに会社のセキュリティ担当に連絡してください。



岐阜県警では、テロ未然防止に向けて、皆様と様々な訓練を行っています。

訓練・講演等のご要望は、事務局までよろしくお願ひします。

岐阜県警察